

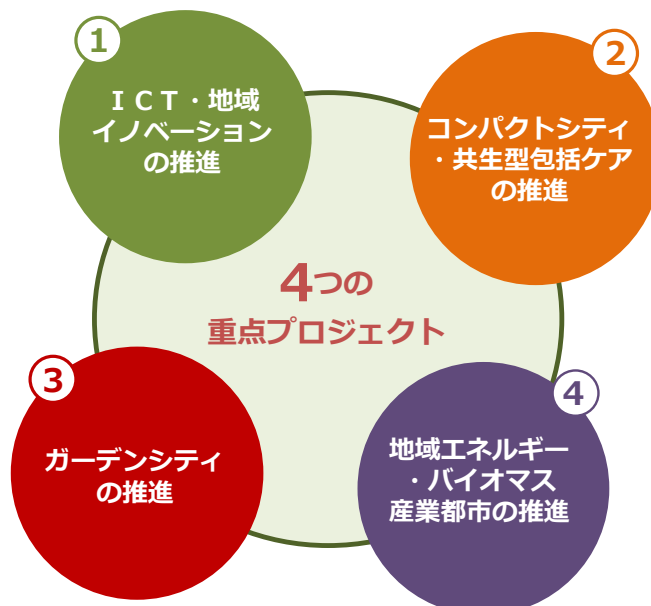
3 重点プロジェクト

～本市の強みを生かし、伸びゆくために～

- 人口減少をはじめ本市を取り巻く社会経済情勢は変化を続けており、こうした中、本市が地域間競争の中で生き抜き、発展を遂げていくためには、立ち止まることなく、この変化に適応し、或いは先取りしたまちづくりを、積極的に進めていくことが必要となります。
- 本市が工業都市として発展を遂げる過程の中で培われた、産業や文化、地域特性など、本市の強み・誇りとなる取組を、単に受け継ぐことに留まらず、未来に結ぶ素材として磨き、まちづくりに生かしていくことが重要です。
- こうした認識のもと、後期実行計画においては、「地域産業の振興」という視点を踏まえて、特に重点的に取り組む施策・事業をパッケージ化し、4つの重点プロジェクトとして位置づけ、戦略的・横断的に取組を推進していきます。

～プロジェクトを効率的・効果的に推進するために～

- 重点プロジェクトを、より効果的に、そして、スピード感をもって展開していくために、従来の組織の枠組みを超えたプロジェクト達成型の組織を構築します。
- これまでにない新たな分野へのチャレンジや、先駆的な取組を推進していくために、職員力の向上を図るとともに、高度な専門知識を備えた外部人材の活用に取り組みます。
- 公共が関与すべき市民サービスの領域を検証し、民間活力の導入・活用に取り組みます。



高度化したデジタルテクノロジーを積極的に取り入れた製品開発や生産性の向上など、地域産業のイノベーションを積極的に進めます。また、これらを推進するため、起業支援や新事業創出の場づくりを進めるとともに、多様な働き手の確保・育成に取り組めます。

【関連指標】

目 標 指 標	基準値	目標値
事業化・創業実現件数【件】（累計）	— (2017年度)	130
ICT・IoT活用による社会的課題の解決件数【件】（累計）	— (2017年度)	25
ICT、IoTなどの新技術の活用・導入件数【件】（累計）	13 (2017年度)	110
(仮称)多様な働き方確保支援センターにおける就職マッチング件数【件】（累計）	— (2017年度)	120

主な取組の方向性

1 オープンイノベーションシステムの構築

- 事業活動等における課題の掘り起しと、その解決に向けた様々な立場からのアイデアや技術を効果的に結びつける、よりフラットな場づくり・仕組みづくりとして、「オープンイノベーションシステム」を構築します。
- 起業・創業を考えている人や既存企業等が集い、新しい価値を生み出す拠点を整備するとともに、行政・民間企業等が保有する様々なデータの積極的な公開（オープンデータ化）や活用、ビジネスプランコンテストの実施など、新ビジネスの創出に繋がる取組を推進します。

2 ICT等新技術の導入促進

- 企業等が持つ優れた技術や産学官の連携体制など、本市のポテンシャルを生かし、IoT機器の開発やIoTを活用した新事業の創出を支援します。
- 中小企業・小規模事業者の情報化分野におけるスキルアップ、人材育成を図り、事業効率の向上に繋がります。
- ICTやデータを効果的に活用し、行政手続のオンライン化など、市民の利便性の向上や、効率的な事務執行を進めます。

3 多様な働き手の確保

- 中小企業・小規模事業者の人材確保対策として、福祉や農林水産業をはじめ全ての産業を対象に、ワンストップで就労相談や職業紹介を行い、雇用のマッチングを進めます。
- 生活困窮者や長期間就労から遠ざかっている人、障害のある人など、支援の必要な人の社会参加、或いは高齢者や子育て中の母親等の就労を支援する仕組みづくりを進めます。

人口減少や高齢化の進展に対応していくうえで、効率的で健全な都市経営を目指すコンパクトなまちづくりと、住み慣れた地域での生活を支える「地域支え合い包括ケアシステム」を相互に連携させた、持続可能で暮らしやすい地域共生型のまちづくりを進めます。

【関連指標】

目 標 指 標	基準値	目標値
中心市街地の休日1日当たりの通行者数【人】	14,617 (2016,2017年度 平均)	15,800
地域内交通利用者数【人/年】	5,220 (2016年度)	12,000
地域福祉総合相談センターの設置数【箇所】(累計)	— (2017年度)	15
ご近所ふれあいサロン箇所数【箇所】(累計)	182 (2017年度)	220
地域計画に基づく新たな取組支援数【件】(累計)	5 (2017年度)	48
校区 健康プランの達成率【%】(累計)	— (2017年度)	100

主な取組の方向性

1 多極ネットワーク型コンパクトシティの推進

- 「宇部市にぎわいエコまち計画」に基づく効率的で健全な都市経営に向けて、医療・商業等の都市機能や居住を誘導する区域等を設定する「立地適正化計画」を策定するとともに、この計画に基づき誘導を促進します。
- 都市拠点としての中心市街地の整備を先導的に進め、まちなか再生とにぎわい創出を目指します。
- 市役所新庁舎に市民活動支援機能とまちづくり拠点機能を持たせることにより、都市拠点の機能を高め、市民の交流・まちづくり活動を促進します。
- 効率的で利便性の高い生活バス路線網の形成と、市民の日常生活の移動を支援する地域内交通の導入に取り組み、拠点間の移動を支える公共交通ネットワークの構築を図ります。
また、交通を活用した魅力あるまちづくり等に向けて、大学や民間企業、交通事業者等で構成する「宇部市交通創造コンソーシアム」の設置により、事業化に向けた取組を進めます。

2 地域支え合い包括ケア・共生型の福祉の推進

- 地域包括支援センターや圏域障害者相談支援事業所など、高齢者や障害者、生活困窮者等の分野ごとにサービスを提供してきた福祉施設を、複合的な問題に対処できる地域福祉総合相談センターへと段階的に移行させ、身近な相談窓口としての機能拡充を図ります。

- 子どもから高齢者まで誰もが安心感と生きがいをもって地域で暮らすことができるよう、地域の支え手・担い手となる人材の育成や、分野を超えた関係機関のネットワークづくりを進めるなど、地域の見守り・支え合いの体制づくりを推進します。

3 元気・安心・地域づくり

- 地域が主体となって策定した地域計画に基づく、保健福祉の推進や地域の活性化等に繋がる取組を支援するとともに、地域計画を効率的・効果的に推進する、自立した地域運営基盤の構築に取り組みます。
- 各地域の健康カルテなどを踏まえて策定した健康プランを地域で共有し、地域団体が主体的に健康づくりに取り組めるよう支援します。
- 多様な主体によるソーシャル・コミュニティビジネスの創出を支援し、地域課題の解決と地域での経済循環を図ります。

本市が公害を克服し、工業都市として発展を遂げる過程で取り組んできた「緑と花と彫刻のまちづくり」の新たなステージとして、市街地の整備に合わせた花の回廊づくりや、市民・企業等と一体となった花づくりや緑化運動、産業化の促進など、「ガーデンシティうべ」を目指した取組を全市的に展開し、他都市に誇れる、魅力ある都市空間を形成していきます。

【関連指標】

目 標 指 標	基準値	目標値
中心市街地の緑地・花壇等整備面積【㎡】（累計）	1,000 (2017年度)	2,300
花・緑と調和した彫刻配置計画の進捗率【%】	— (2017年度)	100

主な取組の方向性

1 ガーデンシティ構想の策定

- 公害克服から始まった歴史ある「緑と花と彫刻のまちづくり」をさらに深化・発展させ、魅力あふれる都市空間の形成を図るため、ガーデンシティ構想を策定します。
- ガーデンシティ構想の中で、市役所周辺や真締川公園等の中心市街地における花・緑と調和した彫刻配置計画を策定します。

2 まちなか緑と花の回廊づくり

- 中央町地区や市役所周辺地区における歩道等の再整備に合わせ、市街地における花の回廊づくりに取り組みます。
- ときわ公園や市役所周辺などの主要施設において、彫刻や花の集中配置を進め、訪れた人に、本市の魅力を効果的に発信します。
- 市街地において、花・緑と調和した彫刻の配置を進め、彫刻のまちにふさわしい、快適で潤いのある都市空間の形成に取り組みます。

3 みんなで育てる花のまち

- 「ガーデンシティ」の整備にあたり、デザインの協議段階から花の生産農家等の参画を図り、生産からデザインまで一貫した支援を行い、地元農業者による花き栽培の促進等の産業振興に繋がります。また、花苗等の生産にあたり、市内の遊休農地の活用を促進します。
- 花壇コンクール参加団体や公園ボランティア等との連携、花の育て方スクールの開催等により市内の緑化を進め、市民の誇り・郷土への愛着につなげます。

地域に存在するバイオマスを活用し、収集・運搬から、製造、利用までの経済性が確保された一貫システムを構築することによって、バイオマス産業の創出と資源循環型社会の形成に取り組みます。

また、再生可能エネルギーの導入促進を図り、最適なエネルギーの利活用の仕組みによるスマートコミュニティを推進します。

【関連指標】

目 標 指 標	基準値	目標値
バイオマスを活用した事業創出件数【件】（累計）	4 (2017年度)	10
エネルギー利用のスマート化実証事業数【件】（累計）	2 (2017年度)	6
公共施設への太陽光発電設備の導入箇所数【箇所】（累計）	34 (2017年度)	41

主な取組の方向性

1 バイオマス産業都市構想の推進

- 2017年10月に策定したバイオマス産業都市構想に基づき、宇部市バイオマス産業共創コンソーシアムを中心に、効果的・効率的な産業育成策を進めていきます。
- 民間事業者による生ごみを原料とするバイオガス発電施設の整備を促進し、食品リサイクルループの構築を進めます。
- 山口うべ竹エコシステム協議会を中心に、竹資源の活用による再生可能エネルギーの導入やタケノコのブランド化、加工品開発など新たな循環システムの構築を推進します。
- 民間事業者と連携し、紙ごみや使用済み紙おむつの利活用を推進します。

2 スマートコミュニティの推進

- 再生可能エネルギー設備の公共施設等への導入や小水力発電など、新たな再生可能エネルギーの導入を促進し、地域の活性化や課題解決に繋がります。
- 宇部市分散型エネルギーインフラプロジェクト推進計画に基づき、地域レベルでエネルギーを最適化しながら有効活用するシステムの、ビジネスモデル創出に取り組みます。

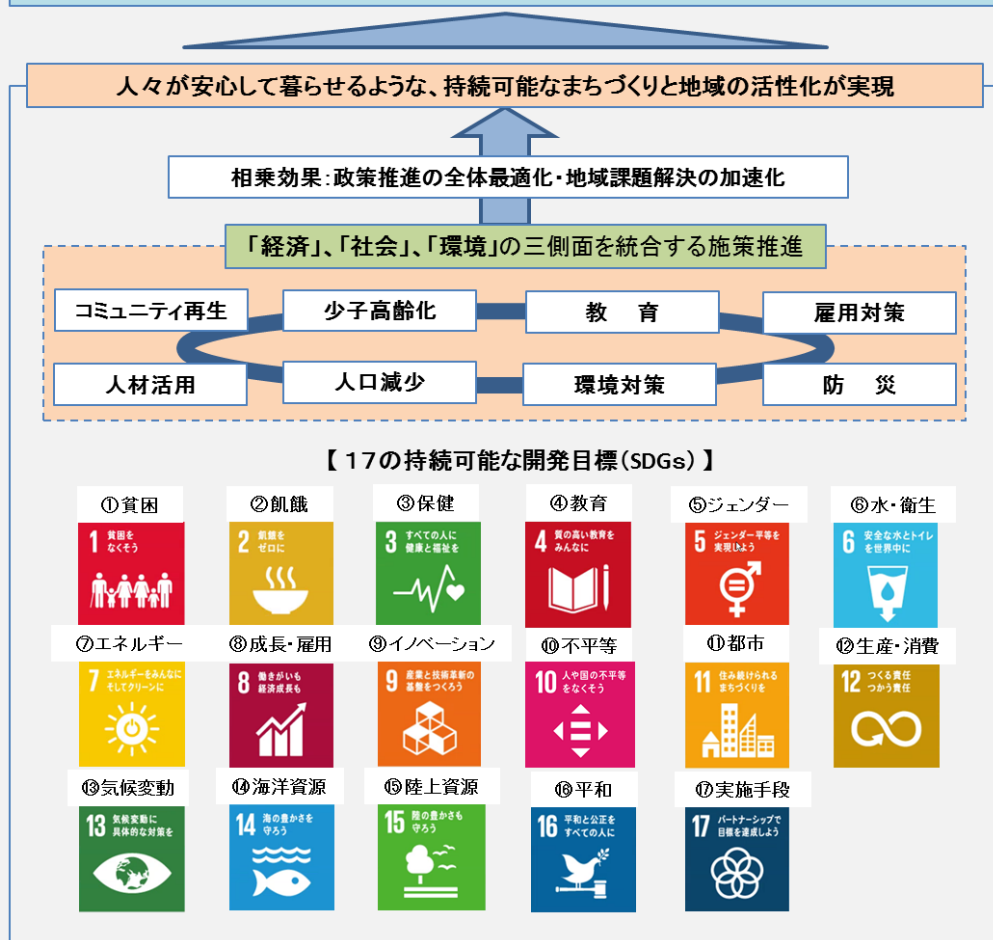
持続可能な開発目標(SDGs)の推進について

- ◆2015年9月に国連で採択された持続可能な開発のための「2030 アジェンダ※」において、先進国と開発途上国が共に取り組むべき国際社会全体の普遍的な目標として、17の持続可能な開発目標(SDGs)が掲げられました。
- ◆これを受け、国においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略2017改訂版」(2017年12月閣議決定)を策定し、その中で、「地方創生の一層の推進に当たっては、持続可能な開発目標(SDGs)の主流化を図り、SDGs達成に向けた観点を取り入れ、経済、社会、環境の統合的向上等の要素を最大限反映する」と示されています。
- ◆自治体における持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けた取組は、地方創生の実現に資するものであり、本市では、国が策定した「持続可能な開発目標(SDGs)実施指針」(2016年12月)を踏まえ、取組を推進します。

※2030アジェンダ：国際社会における持続可能な開発のための行動計画として、2030年を期限とする包括的な目標とターゲット等からなる。

地方創生の目標

人口減少と地域経済縮小の克服／まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立



[120 ページ参照]